



この度グリーンマップ・システムから、アジアと北米の10カ所のグリーンマップづくりを紹介した電子ブック「グリーンマップ・アトラス」(英語版・日本語版)がマルチメディア出版されました。

グリーンマップとは、一般市民の手によって環境に関する情報を、世界共通のアイコン(絵文字)で表した地図を作る活動です。既存の「地図」とは異なり、グリーンマップは市民の視点と市民の自発的活動から制作される身近な環境地図です。

グリーンマップ・システムは、自然と文化を綴ったマップを通して、世界中の地域の持続可能性と市民活動を応援することを目的とする非営利組織です。私達のネットワークには世界中の様々な地域から40カ国、250件近くのプロジェクトが参加し、2004年2月の時点で150種類以上のグリーンマップが発行されています。

JUCEE(日米コミュニティ・エクステンジ)と日本国際交流基金の支援があって、ジャカルタ(インドネシア)、プーネ(インド)、広島、ノースカロライナ州ロブソン郡(アメリカ)、京都、東京、ニューヨーク、函館、ミルウォーキー(アメリカ)、トロント(カナダ)のアジアと北米のグリーンマップづくりを収めたアトラス第一巻が完成しました。各地のグリーンマップ制作者の生き生きとした活動は、持続可能な地域社会への幅広い取組み方を示し、未来へ希望を与えてくれます。このアトラス第一巻は、世界中どこからでもダウンロードできるPDFフォーマットのマルチメディア出版であり、日本語・英語で入手できます。

グリーンマップアトラスにご興味をもたれましたら

<http://www.greenatlas.org/jp/>

までアクセス若しくは下記までお問い合わせ下さい

グリーンマップ・アトラスに関するご感想・お問い合わせ

- ・ウェンディ・ブラウワー <web@greenmap.org>
--アメリカ側プロジェクト責任者/グリーンマップ創設ディレクター
- ・右衛門佐 美佐子(よもさ みさこ) <m-yomosa@smail.plala.or.jp>
--日本側プロジェクト責任者/編集長/グリーンマップ・ジャパン共同代表
- ・堀内 正弘(ほりうち まさひろ) <horiuchi@tamabi.ac.jp>
--日本側プロジェクト・コーディネーター/グリーンマップ・ジャパン共同代表